



# Flourishing identities deep charm of Okinawa

群生する個性、  
もう一歩深い沖縄の魅力へ

vol.  
01

おきなわ  
未来構想力



# 個性豊かに、一人ひとりの想いを形に。

沖縄県では「世界から選ばれる持続可能な観光地づくり」を目指し、多彩かつ質の高い観光コンテンツの開発を推進しています。こうしたなか、「沖縄観光コンテンツ開発支援事業」は、持続、発展、自走化に向けて、沖縄自らがもつ多様な魅力を活用した、コンテンツ開発の支援を行っています。

沖縄、この土地のたからものを  
どのように伝え、守っていくか——

訪れるお客様とともに、たいせつな文化資源、地域資源を丁寧に活かし合っていくことが持続可能な沖縄の観光の未来を育てます。

## 「沖縄観光コンテンツ開発支援事業」とは

本事業は、民間事業者等の実施する沖縄のソフトパワー(歴史、自然、文化、芸能等)を活用した観光コンテンツ開発の支援を通じて、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図ることを目指しています。

### 補助対象事業者:

- (1) 観光関連事業やエンターテインメント事業等に取り組む民間事業者
- (2) 新たなユニークベニューやチームビルディング等のMICEメニュー開発に取り組む民間事業者
- (3) 地域観光協会、登録観光地域づくり法人(登録 DMO)、NPO 法人等



### 補助対象事業:

- (1) 沖縄のソフトパワー(歴史、自然、文化、芸能等の観光資源)を活用した多彩で付加価値の高い観光コンテンツ開発であること。
- (2) 観光消費額の向上や滞在日数の延伸等に繋がる取組であること。
- (3) 持続性及び発展性が見込まれ、自走化を前提とした取組であること。



支援内容等の詳細は、こちらからご覧いただけます。

<https://okicon.jp/>



主催者 沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課 098-866-2764

発 行 沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

電話:098-866-2764

編集人 奥野俊志(株式会社アール・ピー・アイ)

編集協力 早坂妙子(株式会社ジャパン ライフ デザイン システムズ)

永田さち子

デザイン 須田 仁

2025年3月

本誌は沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課「沖縄観光コンテンツ開発支援事業」(令和6年度)の一環として制作しています。  
本誌掲載の記事・画像・イラストの無断転載、複写を禁じます。

### おきなわ未来構想力

~その先の魅力をもとめて~

本事業の紹介ショートムービーをこちらでご覧いただけます。  
(令和6年度版 約10分)



[www.youtube.com/@okinawakankocontents](https://www.youtube.com/@okinawakankocontents)



# INDEX



### 本事業概要

3

- ep01 地域愛から生まれた  
ディープな街歩きツアー [沖縄市・コザ地域] 株式会社ファンファーレ・ジャパン 4

- ep02 暮らしの魅力を活かした  
地域密着型体験コンテンツ [名護市・久志地域] 株式会社ホット沖縄総合研究所 6

- ep03 「うとういむち」で琉球伝統芸能の  
継承と発展を目指す 一般社団法人  
琉球伝統芸能デザイン研究室 8

- ep04 ピーチクリーンは  
SDGsなアクティビティ 沖縄ツーリスト株式会社  
一般社団法人しまねわ 10

- ep05 クマノミの生態から  
沖縄の海を学ぶ [恩納村] ハイアットリージェンシー  
瀬良垣アイランド 沖縄 11

- ep06 伝統行事の体験で  
沖縄の文化と精神を伝える ティーアールピージャパン  
株式会社 12

- ep07 祈りの原点に触れ  
心身を整える [南城市] 一般社団法人南城市観光協会 13

- ep08 琉球王国時代の“古”と“今”  
を行き来する [那覇市・首里地域] 琉球ホテルマネジメント株式会社 14

令和6年度アドバイザーからのメッセージ 15

沖縄観光コンテンツ開発支援事業 [今号掲載コンテンツMAP] 16

### —造成事例—

もとぶヒューマンツーリズム／株式会社沖縄美ら島フードサービス

琉球謎解き行 in沖縄市／一般社団法人沖縄市観光物産振興協会

イルミーバンタ 海辺の夜あかり／バンタカフェ by 星野リゾート

沖縄泡盛ツーリズム／沖縄県酒造組合

沖縄タマテ箱♪トワイライトナイトエコノミー／株式会社セルリアンブルー

誕生日は久米島で! 島まるごとBirth Dayツアー／FM久米島株式会社

伊平屋の自然・伝統文化・人×ウェルネス×SDGs／あいあいいまーる株式会社／アデリーブランディング株式会社

大宜味村におけるブルーゾーン集落滞在／株式会社地域プランディング研究所

メタバースを活用したファミリー向けの学習型観光／特定非営利活動法人うみもりそら

※本誌掲載のツアー内容や料金は2025年3月現在のものです。変更となる場合がありますので、最新の情報は各事業者にご確認ください。

# 沖縄市 コザ・ノスタルジックツアー

～シャッター街もまた新鮮！街全体をエンタメの舞台に～

かつて米兵向けの歓楽街として栄え、「B.C.ストリート」と呼ばれたパークアベニューを中心に、現役芸人のガイドがコザの街を案内。通りの柱1本1本に展示された写真で戦後80年の歴史をたどり、“泊まるるコザの歴史博物館”ともいえるホテル、戦後の資料展示、新旧が混在する飲み屋街などを巡る。ツアーの締めくくりには、伝説のライブハウスで本場のコザロックを体感。芸人によるガイドトークも楽しめるエンタメ性あふれるツアー。



基本情報

主 催 者：株式会社ファンファーレ・ジャパン  
(沖縄県沖縄市中央2-6-47) 098-989-3961  
エ リ ア：沖縄市 コザ地域  
タ イ ブ：現地発着募集型ツアーエリア  
所要時間：約2時間  
料 金：5名40,000円～10名70,000円、15歳（中学）  
最少催行人数：5名（最大10名まで）  
想定ターゲット：リピーター、通な沖縄ファン  
U R L：<https://kozanposu.com/>

かつたら、今の「ゴザはなかつたで  
しょう。負の歴史を肯定するわけ  
ではないけれど事実として認め、  
リアルな世界観をアピールしてい  
きたいですね」。

ターゲットは、リゾート地とし  
ての沖縄ではなく、「ゴザの街」その  
ものを目的に訪れるリピーター。  
モニターツアーでは、「街全体が劇  
場のように見えてきた」「2回目、  
3回目の訪問が楽しみになってきた  
」との声もあり、確かな手ごた

業者さんが多いと聞きました。その内容や運営方法に非常に興味があります。また、僕らが得意なインターネット性や映像分野を組み合わせれば相乗的な新しいコンテンツが生まれるかもしれません。そんな風に他の地域の方々とも繋がる可能性を想像すると、ワクワクしますね!」と、期待を寄せる神山さん。今後はこのツアーチームの主力事業として育てるために、さらなる磨きをかける。

ルート例[徒歩]

- ① プレイヤーズカフェ  
集合  

1999年、パークアベニューにオープンした“コザの顔”ともいえるカフェ。コザを紹介するテレビ番組「コザの裏側」の収録場所でもある。
  - ② パークアベニュー  
散策  

1950年代から現在に至るコザの歴史をパネルで紹介。商店街の歴史の変遷が分かる。
  - ③ トリップショットホテルズ・  
沖縄コザ室内見学  

米軍人相手のキャバレーをリノベーションしたホテル。当時のコザにタイムスリップした感覚を味わえるスポット。
  - ④ 戦後歴史資料館  
ヒストリー見学  

戦後から日本復帰まで、アメリカ統治時代の物品や写真など、ここでしか見られないコザに関する資料を展示。
  - ⑤ 商店街の  
飲み屋街散策  

多彩なカルチャーが交錯する場所として、地元の人や観光客に人気の飲み屋街。音楽、多国籍料理、地元の居酒屋とカルチャーが融合する場所。
  - ⑥ ライブハウス  
CANNONライブ鑑賞  

1960～80年代にかけて、オキナワンロックの聖地として人気を博したライブハウスで本場のコザロックを鑑賞。

※訪問順序は天候等により変更になる場合があります。

観光コンテンツが誕生

映像コンテンツと、コザの個性的な通りを巡るリアル体験を組み合 わせた街歩きツアーを企画。ガイ ド役には地元の芸人を採用し、エ ンターテインメントとしても楽し める内容を目指した。街のオモテ とウラを知り尽くしているからこ その視点と、ローカルネットワー クが活かされてでき上がったのが 今回のツアーだ。

えを感じている。もう一つのテーマが、"Walkab-e"。コザの歴史を紹介するパネル展示を整備したのは、片道約450mのパークアベニュー。街の変遷をたどりながら往復すれば約1kmになる。人の往来が増えれば商店街が潤うし、歩くことによる健康効果もアピールできる。

ノスタルジック・コザにタイムスリップ!

# 地域愛から生まれた ディープな街歩きツアー

戦後の1950～60年代、  
米軍基地関係者により空前の賑わいを見せたコザ。  
アメリカ文化の影響を受け独特の文化が根付いた街に  
その歴史と魅力を掘り起こし、芸人のガイドで  
“沖縄の深層部”に飛び込むツアーが誕生した。  
華やかな過去も、負の歴史も、ありのまま盛り込むことで  
コザでしか体験できない、唯一無二のコンテンツとなっている。



現役芸人で本ツアーガイドを務めるわさび[具志堅さんと小だいらくん](写真左上)。取締役でプロデューサーの神山繁巻(右上)は沖縄市を紹介するテレビ番組「コサの裏側」のプロデューサーを10年以上にわたって務めるコザのキーマン。地元で活躍する芸人が街歩きを案内することで、よりエンタメ性を高めた。



県 下第二の都市、沖縄市。中  
心市街地のコザは戦後、米  
軍基地の門前町として県内随一の  
賑わいを見せた。現在も夜になると  
とバーやカフェに英字のネオンサ  
インが灯るが、昼間は人通りが途  
絶えたシャッター街も。このコザ  
に街歩きツアーや観光客を誘致し、  
街の活性化を目指しているのが、  
ファンファーレ・ジャパン代表の  
島袋武志さんと神山繁さんだ。

「空前の賑わいを見せた頃の来訪  
者は、ほとんどが米軍関係者。と  
ころが時代が変わり、僕たちが力  
フエをオープンした1999年当  
時は最も寂しい時代でした」。

しかし、悪いことばかりではな  
い。店舗の家賃が下がったことで、  
若い世代が出店しやすくなり、個  
自のアイデアで、街に賑わいを取  
り戻すための活動を行ってきた。  
カフェを拠点に、かつてキヤバ  
レーとして営業していた古い建物  
を活用したユニークなホテル事業  
ほか、イベント、ワークショップ  
アーケード街のデザイン装飾やコ  
ザの歴史が分かるパネルの展示の  
べてが、「コザの魅力を多くの人に  
愛すべき二サを元気に！」  
ローカルエンタメで街づくり

## ヨザ地域の活性化に向けて

ツアーコンテンツ事業

「牛歩ではあるものの、一步一歩進んできた実感はあります。とはいっても小さな会社にできることは限られていて、いまひとつ物足りなさがありました」。

ジレンマの中でも知ったのが、本事業の存在。かねてから構想にあった、コザカルチャーをリアルに体験する街歩きツアーの実現をスピードアップできる可能性を感じたという。神山さんの呼びかけに賛同して加わったのが、県内のテレビ番組やCMを多く手がける放送作家のギャンヒロユキさん、沖縄映画界の第一人者で海外でも高い評価を得ている映画監督の岸本司さん。3人の仕掛けにより、

**ローカルパートナーとツアーエクスperience例**



ヤギマスターと朝散歩  
(二見区・喜屋武さん)

おしゃべりオジーと集落さんぽ  
(安部区・宮城さん)

暮らしの達人とゲートボール  
(大浦区・嘉手苅さん)

元寿司職人の引退ライフ  
(大川区・澤城さん)

ゆんたくはんたく♪ものづくり女子会  
(三浦区・三原ていぐま会)

琉球藍が彩る自然の中で子育て  
(三原区・照屋さん)

地域にある守りたいものを守っていく手間と心を込めた畑作業  
(嘉陽区・翁長さん)

仲良し夫婦とゆったり朝時間  
(嘉陽区・比嘉さんご夫妻)

小学生の夏休みに戻れる朝7時  
(天仁屋区・ラジオ体操同好会)

**基本情報**

主催者: 株式会社ホット沖縄総合研究所 098-860-6100  
那覇拠点 沖縄県那覇市西1-19-1-2F  
名護拠点 沖縄県名護市安部156-2

エリア: 名護市(久志地域)  
タイプ: 現地発着募集型ツアーアクティビティ(事前申し込み制)  
所要時間: 30分~2時間  
料金: 700~5,000円(税抜) 料金変動あり  
最少催行人数: 大人2名以上  
想定対象: カヌチャリゾートのゲストが中心。沖縄のローカルな暮らし体験に興味がある層  
URL: <https://okisatojikan.com/>

**沖縄郷時間 久志の暮らし**

久志地域の人々の豊かな日常をおすそわけ!  
※おしゃべりオジーと集落さんぽの一例

ルート例  
↓ 公民館に集合!

↓ ローカルパートナーの紹介  
ツアーアクティビティである「おしゃべりオジー」こと宮城勇吉さんによる村の歴史と、年に一度の祭事である豊年祭の紹介。

↓ 集落散歩  
集落の神様が祀られている安部御神殿、十字路(アヅマ)などを訪問。

↓ 安部ビーチ散策  
のんびりとした穴場ビーチで、宮城さんがホラ貝吹きを披露。希望すれば、参加者もホラ貝を吹くことができる。

↓ 認定住民票の発行  
公民館に戻り、パートナー(宮城さん)の直筆署名入り「認定住民票」を交付。

NPO法人久志地域観光交流協会  
事務局長 江利川法孝さん



「地域と一緒に事業を始めるときに一番大切なのは、無理強いになってはいけないということ。地域の方々がやりたいことはうまく進むけれど、外からの一方通行な施策はうまくいきません。今回の事業は、パートナーさんの暮らしを守ることが大前提になっています。一方で、外から人が入ってくることがいい刺激になっていることも事実。新たな交流により発表の場ができる限り、地域の魅力を再発したり、相互学習の機会や、新しいことにチャレンジする意欲にも繋がっているのではないかでしょうか。そこに地域の活性化や伝統文化継承の糸口が見えて、両輪がバランスよく回っていくようになれば理想的ですね。」

本事業で実施したモニターツアーアクティビティには、集落での暮らしに触れ、将来移住を考えたいという人も。観光としてだけでなく、末永く関係性を育んでいく出会いをも創造するコンテンツに期待がかかる。

**新たな交流が地域の元気や生きがいの創出に**



## 地域が主役!

# 暮らしの魅力を活かした地域密着型体験コンテンツ



地元の人たちの暮らし方が、外の人に宝物のように輝きを放つ見える。なぜならそこには農業、手仕事、伝統行事、さらには精神性といった、長い年月をかけて育まれてきた生活文化が凝縮されているから。そんな日常生活の観光コンテンツ化は、沖縄の深い魅力を引き出し、地域が主軸となった顧客との新たなパートナーシップを築いていくことに繋がりそうだ。



## 魅力あるコンテンツ!

名

護市は、昔ながらの沖縄の景色と暮らし方が今も残る場所。

ここで地域の日常生活を体験するツアーアクティビティを企画・運営しているのが、ホット沖縄総合研究所(以下、ホット)だ。担当の上原由姫さんと翁長愛音さんに、本事業に工ントリーした経緯を聞いた。

「ホット総研として、グループ会社であるカヌチャベリゾートの宿泊客の地域への流入を強化するために、地域内で体験できる特別なコンテンツ造成の必要性を感じました。また、久志地域では高齢化が進み、伝統行事の維持が難しくなっている現状があります。

そこで観光で訪れる方も、地元の方も楽しみながら暮らしや文化を紡いでいく方法として、地域の人たちと一緒に作るツアーアクティビティを実現しました」と上原さん。

しかし、一つの企業が地域と一緒にやってプロジェクトを進めていくことは決して容易ではない。そこで、大きな推進力となつたのが、NPO法人久志地域観光交流協会連携だ。久志地域事務局長の江利川法孝さんは、13ある久志地域の集落の状況と暮らしぶりを知り尽く

サポートに入ることもある。特別な脚色もなければ、大きなイベントが用意されているわけでもないが、参加してみるとこの久志でしかできない、かけがえのない体験であることが分かる。

上原さんたちが最も配慮しているのは、ツアーアクティビティの催行が決してないこと。各区長との報告会やパートナーのもとを訪問するときにも、必ず久志交のスタッフとともに働く。それが時間をかけて築き上げた信頼関係を維持するうえで欠かせないと考えているからだ。

「ホテルのすべてのお客様に体験していただきたいくらい、魅力的な内容だと思いますが、特に地域の暮らしや文化に興味があつて、

その価値をともに育んでくださる方へ来ていただきたいです。また、パートナーさんの普段の暮らしを守ることが大切。さらにパートナー自身にも楽しんでいただけたら、持続性のある事業になり、経済効果にも繋がると思います」と翁長さん。

モニターツアーアクティビティ実施後は、パートナー側にも新たな変化が表れてきている。「畑で採れたものや、自分たちが作ったものも食べてもらいたい」など、ツアーアクティビティの提案が次々と出てきている。地域とともに取り組み、生活体験とツーリズムを組み合わせた観光コンテンツは、地域の人々が主役。今後の展開に大きな期待がかかる。

案

内役をガイドではなく、ローカルパートナーと呼ぶ。ツアーアクティビティ内容は、パートナーの暮らしの一部を体験するもの。たとえば、集落の神事で神様を呼び起すホラ貝吹きの役割を担つている宮城勇吉さんが担当するのは、「おしゃべりオジーと集落さんぽ」。

宮城さんとゆんたく(おしゃべり)しながら集落の要所を巡り、静かなビーチでホラ貝の音に耳を傾ける。サポート役は、わんさかの大城さんがメインで担当。サポートで久志交の江利川さん、ホット総研が

進するにあたっては江利川さんと株わんさかの大城さんに人選や調整役を担当してもらいながら、上原さんと翁長さんも一緒に各区長のもとに足を運び、事業の背景と目的、内容や運営方法を丁寧に説明していった。その過程で地元側は、継続的に地域のためになる事業なら協力するとの言葉を多くもらえたという。地元とのかけ橋となる事業者との連携、本支援事業のアドバイザーからのサポート、そして時間をかけて信頼関係を築きあげたことで、今回の9つのローカルツアーアクティビティが形になった。

## 琉球の美

### ～特別なおもてなし～

琉球王朝時代の高貴なおもてなしを沖縄伝統芸能で再現。歌三線と舞踊の2名により小空間で上演することで、ダイナミックな臨場感を体験できる。本物の琉球紅型や房指輪など、通常ではなかなか見ることができない衣装や小物を鑑賞し、触れられることもポイント。終演後にはフォトセッションの時間が設けられている。



基本情報

主催者：一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室（沖縄県那覇市首里当蔵町1-4 沖縄県立芸術大学 山内昌也研究室）  
098-882-5090  
エリア：沖縄全域、東京などの県外  
タイプ：受託公演  
料金：ご相談  
所要時間：解説を含め30～40分程度（ご相談）  
催行人数：2～50名程度（50名以上はマイクを使い実施可能）  
想定対象：上質なホンモノ体験を求める人、文化・歴史への関心がある  
国内外からの旅行者  
URL：<https://ryu-design.or.jp/>



琉球伝統芸能を守り伝えるために人々が共感できる内容に磨きあげていく



一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室 代表  
沖縄県立芸術大学 教授  
山内昌也さん

©琉球伝統芸能デザイン研究室



### 琉球王朝時代の高貴なおもてなし

## 「うとういむち」で琉球伝統芸能の継承と発展を目指す

交易で栄えた王朝時代に生まれた琉球伝統芸能には、沖縄のおもてなしの原点がある。

若手を育成し、活躍の場をつくることで伝統文化の継承を目指す法人が

事業として大きく躍進した秘訣とは？

伝統芸能とツーリズムの連携から生まれたコンテンツには

沖縄の新しいプレゼンテーションのヒントがある。

**一** 一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室は2019年、琉球伝統芸能を継承し、人材育成と活躍の場を創出することを目的

に設立。柱となる活動として、会員公演、主催公演に加え、少人数・小空間で行う受託公演がある。2021年に本事業にエントリーし、一年間のサポートを受けたのち、自走化を実現。現在はおもにラグジュアリーな空間にて、年間100回以上の公演を提供するまでになった。短期間で事業を

急成長へと導いたポイントを、事務局長の平賀和明さんに聞いた。

「代表理事の沖縄県立芸術大学教

授・山内昌也が、卒業後の学生の

活動場所が少ないことを課題と

思っていたことがきっかけです。

伝統芸能だけ収入を得ていくこ

とは難しく、上演機会を増やす受け皿を整える必要性を感じています。

「高品位な仕事として演じる

場をつくることで人材を育成し、

伝統芸能の継承と発展に繋がれば

と、法人を設立しました」。

コンセプトは「琉球伝統芸能の

新しいカタチと「デザイン」、つまり伝統と革新だ。「琉球伝統芸能」

宮廷芸能」に絞り込み、演者は歌

三線と舞踊の二人だけ。小空間で

演じることにもこだわった。ま

さに革新的な取り組みに不安はな

かったのだろうか。

「以前、山内が東京で開催した歌

三線と女踊りによる一人だけの公

演が好評だったこともあり、チャ

レンジしてみると価値はあると感じ

いました。万人に受け入れても

らえなくても、伝統芸能に興味が

あるお客様に向けて発信できれば

いいとの思いがありました」。

その目論見は見事に的中した。

大人数で鑑賞する劇場では味わえ

ない特別感とともに、歌三線の息

遣いや舞の所作による畠のすり足、

紅型の衣装が擦れる音を間近に感

じる臨場感が来場者を魅了。公演

は見事に的中した。

大人数で鑑賞する劇場では味わえ

ない特別感とともに、歌三線の息

遣いや舞の所作による畠のすり足、



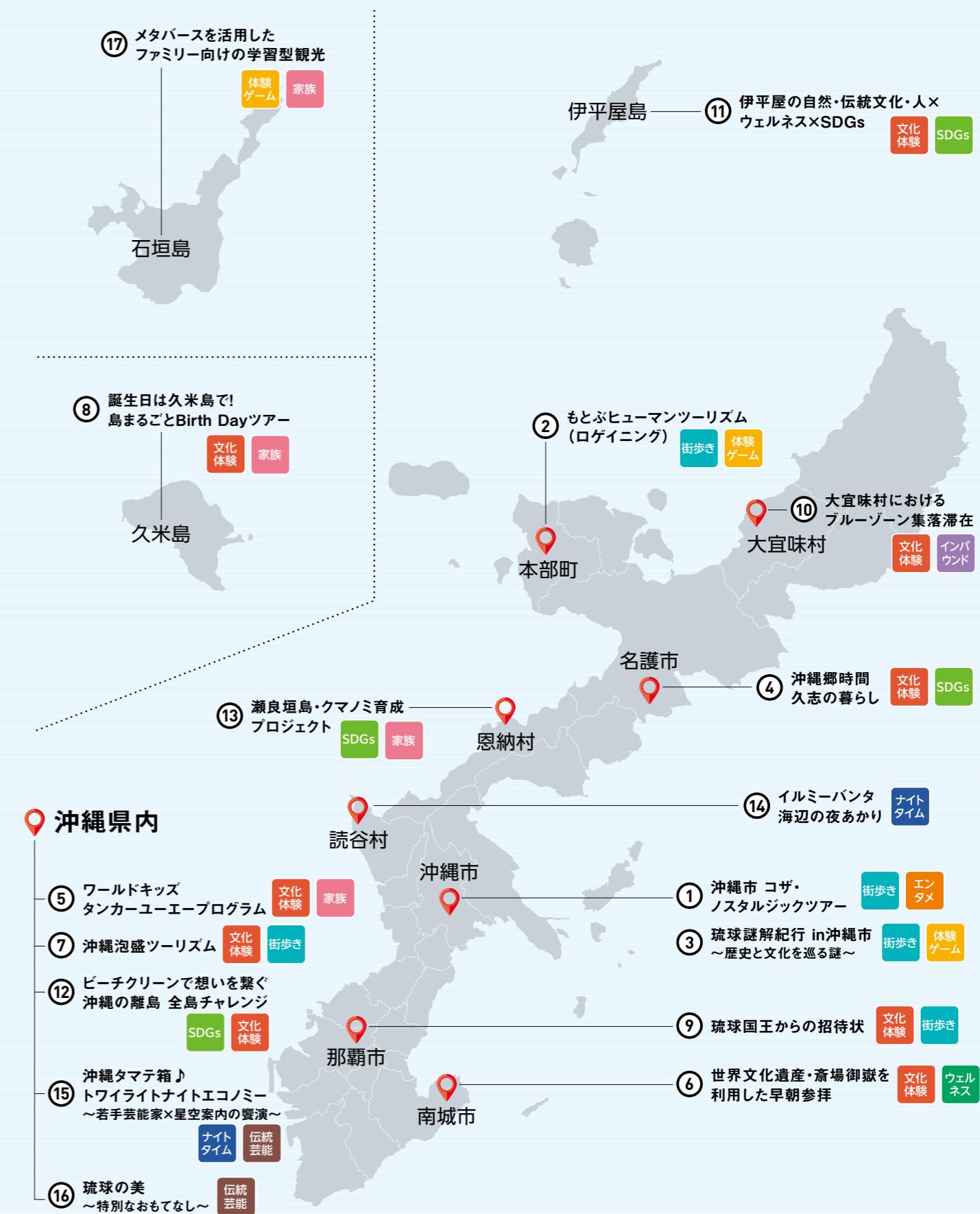




# 沖縄観光コンテンツ開発支援事業

【今号掲載コンテンツMAP】

	カテゴリー	年度 (令和)	エリア	事業者名	コンテンツタイトル	概要	P
①	街歩き エンタメ	6年度	沖縄市	株式会社 ファンファーレ・ジャパン	沖縄市 コザ・ノスタルジックツアー	コザの旧新を巡るローカルウォーキングツアーア。現役の芸人によるガイドトークやライブハウスでのコザロック鑑賞などエンタメ性も抜群。	4
②	街歩き 体験ゲーム	5・6 年度	本部町	株式会社 沖縄美ら島フードサービス 一般社団法人本部町観光協会	もとぶヒューマンツーリズム (ロゲイニング)	自然、文化など町内のエリア内に設定されたチェックポイントを巡り得点数を競うロゲイニング。大人数での実施が可能。	18
③	街歩き 体験ゲーム	6年度	沖縄市	一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会	琉球謎解紀行 in沖縄市 ～歴史と文化を巡る謎～	歴史的スポットや観光スポット、商店街に隠された謎を解きながら巡る。日時を指定されないため参加者の自由度が高い。	18
④	文化 体験 SDGs	6年度	名護市	株式会社 ホット沖縄総合研究所	沖縄郷時間 久志の暮らし	散歩や農作業、ヤギへのエサやり、民具づくりなど、名護市久志地域の人々の日常を特別な脚色ではなく、そのまま体験することができる。	6
⑤	文化 体験 家族	5年度	本島 全域	ティーアールピージャパン 株式会社	ワールドキッズ タンカーユーエープログラム	沖縄に古くから伝わる誕生日の行事タンカーユーを家族で体験できるプログラム。地元のシッターが行事の由来を説明しながら進行する。	12
⑥	文化 体験 ウェル ネス	4年度	南城市	一般社団法人 南城市観光協会	世界文化遺産・斎場御嶽を利用した早朝参拝	世界文化遺産に登録された斎場御嶽に、一般入場者のいない早朝に入場。日の出の時間に合わせた参拝と、ヘルシーな朝食を組み合わせたウェルネスプログラム。	13
⑦	文化 体験 街歩き	5・6 年度	県内 全域	沖縄県酒造組合	沖縄泡盛ツーリズム	泡盛ガイドの案内により、蔵内や醸造所見学と、周辺地域の歴史、自然、文化体験を組み合わせたツアー。	19
⑧	文化 体験 家族	6年度	久米島	FM久米島株式会社	誕生日は久米島で! 島まるごとBirth Dayツアー	バースデーコンシェルジュが誕生日を迎える主役に合わせてオリジナルプランを作成し、島をあげて祝う。	20
⑨	文化 体験 街歩き	4~5 年度	那覇市 (首里)	琉球ホテルマネジメント 株式会社	琉球国王からの招待状	琉球王国時代より引き継がれている文化・芸能と、ホテルの宿泊・食事を組み合わせたコンテンツ。首里城周辺散策や伝統芸能鑑賞、食事など上質な体験を楽しむ。	14
⑩	文化 体験 インバ ウンド	6年度	大宜味 村	株式会社 地域プランディング研究所	大宜味村における ブルーゾーン集落滞在	インバウンド向けの民泊を利用した1泊2日のツアー。通訳と集落の歴史や文化、生活習慣を熟知した地元ガイドが同行し、自然体験、もの作り体験などのプログラムを提供。	21
⑪	文化 体験 SDGs	6年度	伊平屋 島	あいあいゆいまーる株式会社 アデリープランニング株式会社	伊平屋の自然・伝統文化・人× ウェルネス×SDGs	かつて村祭りで使われていたサバニを修復して行う伝統漁業体験、島の女性に教わるクバの傘作り、大人向けの民泊など、人と自然の豊かさを体験する。島ならではの資源を活用した、ウェルネスで持続可能なプログラム。	21
⑫	SDGs 文化 体験	6年度	県内 全域	沖縄ソーリスト株式会社 一般社団法人しまぬわ	ビーチクリーンで想いを繋ぐ 沖縄の離島 全島チャレンジ	沖縄離島に出かけ、海の清掃活動を行う。訪問先では地域の人たちと交流し、ゴミ処理施設を見学したり、ゴミ処理の課題についても学ぶ。	10
⑬	SDGs 家族	3~5 年度	恩納村	ハイアットリージェンシー 濱良垣 アイランド 沖縄	濱良垣島・クマノミ育成 プロジェクト	シュノーケルと座学で濱良垣島の海とクマノミの生態を学ぶ。沖縄科学技術大学院大学(OIST)監修。経験豊富なインストラクターと一緒に楽しく体験。	11
⑭	ナイト タイム	3~5 年度	読谷村	バンタカフェ by 星野リゾート	イルミーバンタ 海辺の夜あかり	ライトアップされた海岸線を見下ろすカフェ＆テラスで楽しむ時間。地元ミュージシャンや作家と連携したイベントも。	19
⑮	ナイト タイム 伝統 芸能	5・6 年度	本島 全域	株式会社セルリアンブルー	沖縄タマテ箱♪ トワイライトナイトエコノミー～若手芸能家×星空案内の饗演～	バスツアー。世界遺産、琉球歌碑などを訪問し、若手芸能家の琉球演舞を鑑賞。ワークショップと食後は、特別なエリアでの沖縄の星空を鑑賞する。	20
⑯	伝統 芸能	3年度	県内 全域 ・県外	一般社団法人 琉球伝統芸能デザイン研究室	琉球の美 ～特別なおもてなし～	伝統芸能のエッセンスを凝縮し、琉球王朝時代の高貴なおもてなし「うとういむち」を少人数・小空間で体験。	8
⑰	体験 ゲーム 家族	5・6 年度	石垣島	特定非営利活動法人 うみもりそら	メタバースを活用した ファミリー向けの学習型観光	インターネット上の仮想空間で事前学習した島の自然や文化を、実際に島を訪れてリアルに体験。	22



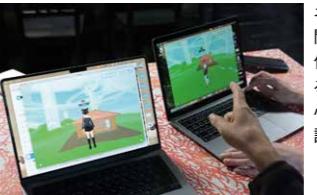






## バーチャルとリアル体験の組み合わせが楽しい遊びながら学べる親子向けの学習観光コンテンツ

インターネット上に構築された【メタバース石垣島】と、リアルな体験を組み合わせた観光コンテンツ。知的好奇心を刺激する内容でリピーターの獲得とともに島の魅力を広く発信していく。



渡辺仁史さん(右)と、代表の村上佐恵子さん。

### 3ステップの学びと体験を

石垣島には豊かな自然と文化がある。島内だけでなく、島の外の子どもたちにもこの島ではばらしい体験をしてもみたいとの思いから、学びと体験の場として観光コンテンツの開発を考えたという。

メタバースでは、離れた場所にいる人と空間を共有できることも魅力。メタバース上に集まつた子どもたちが、石垣では一緒に学んだり遊んだりできるというわけだ。体験終了後はもう一度メタバース上に集まり、追加学習ができる

い親子のリピーターを増やしていきたい考えだ。

「今後は、集客方法とシステムの維持が課題です。修学旅行や学校のプログラムとして提供したり、島内の観光事業サイト上に広告を掲載するス

ポンサー企業にも期待している」と村上さん。

22

中どこへでも旅ができるメタバース観光。特定非営利活動法人うみもりそらでは、これにリアル体験を組み合わせたコンテンツを造成中だ。法人設立に携わった渡辺仁史さんは工学博士で、代表の村上佐恵子さんも一級建築士。建築専門家が、観光コンテンツを開発を手がけた経緯と目的を聞いた。

「家族の病気療養で東京と石垣島の二拠点生活を経験し、島の気候と自然にとても癒されました。そのお返しに島の子どもたちのために何かできないかと思ったとき、『一緒にやりましょう』と提案してくれたのが同じ大学の卒業生の村上さんたちです。当初はボランティアでしたが、おもに離島の子どもたちに立体でものことを考える場所や機会を作ることを目的に、2011年から人間の五感をテーマにしたワークショップを5年にかけて開催し、2019年にNPOとして登録。次の活動を考えたとき、時代に合わせたバーチャル空間を作つて、子どもたちに楽しんでもらうアイデアが生まれました」と

渡辺さん。  
石垣島には豊かな自然と文化がある。島内だけでなく、島の外の子どもたちにもこの島ではばらしい体験をしてもみたいとの思いから、学びと体験の場として観光コンテンツの開発を考えたという。「メタバース石垣島」と名づけた仮想空間には、地形とともに森や海、動植物を再現。たとえばアバターになってマングローブの森に入り込み、鳥の鳴き声を頼りに近づいていくと、八重山諸島で見られる渡り鳥アカショウビンを見つけたときには、よりリアルな感動に繋がる。

メタバースで事前学習することでの仮想空間と現実を行き来しながら、島の自然についてより深く学べる内容だ。さらに絵本やパズル、野菜クレヨンなどの知育玩具の開発にも、本事業を活用した。

「島外のご家族にモニター体験してもらったところ、子どもたちの目から見る石垣島がとても新鮮だっただけでなく、お母さんたちがものすごく楽しそうだったんです。都会の人々が親子で石垣島の自然を学んで感動を共有すること

### メタバースを活用したファミリー向けの学習型観光

インターネット上の仮想空間で事前学習した島の自然や文化を、実際に島を訪れてリアルに体験。終了後に再び仮想空間で追加学習する、3ステップのプログラム。遊びの中に学習の要素を取り入れることで、学習意欲の高い親子の好奇心を刺激する内容。

#### 基本情報

主 催 者：特定非営利活動法人うみもりそら  
(東京オフィス:東京都新宿区大久保2-17-34  
石垣島オフィス:沖縄県石垣市野底889-1)  
エ リ ア：石垣島など八重山諸島  
タ イ プ：ハイブリッド型(現地発着、旅マエ、旅アト参加)  
所要時間：90分から2日間(プログラムによる)  
料 金：3,000 ~ 15,000円  
最 少 催 行 人 数：2人  
想定対象：県内外のファミリー層、修学旅行生  
U R L：<https://www.umimorisora.com/>





沖縄県文化観光スポーツ部